

第 56 回番組審議委員会議事録

1. 開催年月日 令和 4 年 1 月 12 日(水)午後 10:30~11:30
2. 開催場所 和歌山県田辺市宝来町 8-21 泉ビル 2 階
3. 委員の出席 委員総数 6 名 出席委員 3 名

出席委員の氏名 野村悠一郎、坂本耕作、橋智史

欠席委員の氏名 安達克典、小倉拓、森下憲一

放送事業者側出席者氏名 泉清、生田奈穂、濱田由希子

リモート参加：安田豊、安田正、角田圭三

欠席者氏名 洞周作、大崎健志

議題 1) 局側挨拶 (現状報告)

2) 議題

□番組聴取

12 月 5 日(日)放送の「こいからどこ行く日曜日」で電話ゲスト出演されました能楽師上田悟様のインタビューと、12 月 3 日(金)放送の「グッドモーニングたなべ」内のコーナー「防災士あさちゃんの備えて GO！」の各ダイジェストを聴取、ご意見・ご感想

3) その他番組への質問・意見

4) 今後の放送に対する意見・要望

5) その他

局側挨拶・報告

1. 局側挨拶

泉：あらためまして、あけましておめでとうございます。年が明けまして何とか順調にいける予定でしたが、残念ながら今年もコロナ禍の中でのスタートとなってしまいました。昨年末より本格的に取りかかっておりますラジオドラマ制作に会社一丸となって動いております。12月1月はクラウドファンディングも募集していますが1月31日終了ということで収録作業と並行しながらやっています。メイン役者さんの収録は1月中に終わりますが、まだ他の出演者の収録やこれから編集作業が残っている状態です。そんな中また感染拡大しているコロナの影響が少しでも収まってくれることを期待しているところです。いろいろありましたが、年末年始も通常営業でむかえる事ができました。今後ともよろしくお願ひいたします。

2. 議題

～番組聴取～

生田：まずは12月5日(日)放送の「こいからどこ行く日曜日」で電

話ゲスト出演されました能楽師上田悟様のインタビューについてご意見お願ひいたします。

野村：能とは別世界のものと言いますか普段触れることがあまりないものかなと思います。闘鶏神社でわたしも 2 回程能に関わって現場へも出でいろいろやってきましたが、なかなかそう簡単に入り込めるものではないですね。

坂本：今コロナで地域の伝統に関する団体の発表する場というのが本当にはないのかなと思っています。商工会や青年会議所などでも、そういういった PR 出来る場がないかと考えていて、そういういた点でラジオという媒体は音楽なんかを披露できるじゃないですか。普段触れることがない、さらにコロナ禍でなかなか聞けないというところで今回ゲスト出演された能楽師の方のお話や音楽を聞けたというのは意義深いのかなと感じました。

一つ気になったのですが、この番組でゲスト出演されるのはランダムで決まっているのですか？

生田：毎回ゲストさんがいらっしゃるわけではないので、こういったイベントがあるとか地域のお知らせとかいろんな形でセッティングしています。

泉：今回はご出演いただいた上田さんと闘鶏神社絡みで何度か出会う機会があったというきっかけでご縁がありました。基本生放送で行ってますので、その場で電話で繋ぐ・スタジオに来ていただくなどある程度自由に対応出来ます。

坂本：上田さんも披露出来て喜ばれてましたし、営利目的じやない何かのきっかけの中で他団体との繋がりをもってラジオの取り組みが出来るのは素晴らしいと思います。

泉：ありがとうございます。コロナ禍になって今は電話でご出演いただく事が増えました。

生田：案陳清姫さんのお話、元々悲しい終わり方をするのですがそれをハッピーエンドに変えてあげようという事で新作能を作ってくれださったというお話もありました。わたしたち地元民にとっても馴染みのある物語が新しいストーリで楽しめるのも良いなと感じました。

野村：エンディングを変えられたのですね。

泉：元々のお話は道成寺が500年後くらい経ってから創作されたそうです。中辺路の方ではそれは違うんじゃないかという意見もあるみたいです。だから今回良かったと思います。清姫側から映したお

話になっています。

安田豊：私は今回の新作能を見に行くことが出来なかつたのですが、これに関する紀伊民報の記事を見ました。去年の年末に紀伊民報の小山社長のところへご挨拶を兼ねて訪問させていただいて、その時にこの能を実際見られたお話を伺いましたが、思ったよりお客様が少なかつたことを残念がつっていました。本当は田辺という地はこれまで闘鶏神社でも何度か公演されていましたりして人口比でいうとファンが多いところなんです。今回はもう少し事前に周知活動をしていれば良かったかなとおっしゃられていました。ラジオでこういうインタビューをされていたのを社長さんもご存じだと思いますが、新聞とラジオが何かの時に連携をとつて、事前の周知や紹介を出来るとよりいいかなと思いました。

生田：ありがとうございます。続きまして、12月3日(金)放送の「グッドモーニングたなべ」内のコーナー「防災士あさちゃんの備えてGO！」についていかがでしょうか。

橘：あらためて南海トラフや地震の事を聞けるのは、もう一回勉強になって良いなと思いました。短い時間の中なのでそんなに多くの情報はなかつたかもしれないですが、定期的に放送してくれると聞

いている皆さんの防災力は上がるのかなと感じました。

泉：毎週やってくれているコーナーです。子どもたちと一緒に家中などでいろんな実験をされている方で、そういった経験をもとに毎回いろんなお話を聞かせてくれます。

生田：今回は初心にかえって…という事で南海トラフのお話をしてくださいましたが、「同じ話何回してもいいよね」といった事も防災士あさちゃんがおっしゃってくださっているので、何回も何回も繰り返しラジオから皆さんの耳に入していくことで意識も高まっていくのかなと思います。

橘：防災士あさちゃんとはどんな方なのでしょうか？

泉：もともと地面が好きな方で、地質学を勉強してこられてたのですが結婚をきっかけにこちらに来られて。ずっと溝の研究をされていたそうですが、東日本大震災を経験されて"起こる事"に关心を持つようになり、ちょうどお子さんも産まれる時でより家族を守りたいという気持ちが強くなり防災士の資格を取られたそうです。

坂本：FM TANABE のメイン聴取者は主婦の方が多いのでしょうか？

泉：時間帯で変わっていくところはありますが、朝の7時～9時台は

通勤時間なので車の中で通勤されている方が多いかと思います。そして 10 時～12 時台が主婦層が中心になってくるかと思います。農家の方や工場の方たちがラジオ聴きながら作業されているというのもよく聞きます。

坂本：僕とか坂本さんだったら南海トラフの成り立ちとかに興味があるのですが、主婦の方たちってもし実際起こったらどれくらいの高さの波がきて、何分で到達して、海拔何メートルくらいのところに逃げたらいいのか、具体的な事例とか情報を提供したらより良くなるのかなと思いました。

泉：毎回標語とかにして簡潔に伝えてもいいかもしれないですね。あさちゃんがやってくれているのは家庭でよくある事、家の中で真っ暗になったらこれだけ動けないとか車中泊するってどんな感じとかそんな話をしてくれるので、子どもさんいらっしゃる方は面白いと思います。

坂本：僕がもし対談出来るとしたら、転倒防止の家具を固定するものって本当に役に立つの？って疑問に思っているので防災士の方から事例を交えて答えてほしいなって思います。

泉：あさちゃんが以前講演でおっしゃっていたのが、備えて GO と

いう言葉にあるように地震はくるんですよと。だから怯えてても仕方ないので出来る備えをしましょうという話を中心にされていました。

坂本：いろんな災害に対するテーマってあると思います。避難であったり減災、準備とかお話を広げられたらいいのかなと思いました。

野村：防災士あさちゃんって何者なのがなって思いながら聞いていました。地質学といえば先ほど聞いた能と同じように専門的で我々とはまた違う分野なのがなと感じました。ただ、防災や減災といえば防災士の資格をもった方々は自分の身の周りにもいます。地域でも防災訓練を行いますが、僕がいつも思うのは日曜日の天気の良い日ばかりにやっても仕方がないと。夜間や雨の日などにやれる方法は無いのかと消防の方にも交渉しましたが無理でした。夜間は難しいと言われましたが、難しい事をやらないと意味がないと思っていました。

我々も言っているのが、日ごろの備え。まずこれが第一です。そして意識を高めてもらう事。災害があった後は意識が高まるのですが、平穀が続くと非難が出ても集まるのは数人と決まっています。だから日頃の備えを意識して住民に知らせる方法を口酸っぱくなるほど言い続けないといけないですね。このコーナーのあさちゃんが

話してくれているような事を植え付けて、基礎知識をもってもらいたいですね。しかし今はコロナに意識が向いていて生活様式も変わりましたから、防災・減災については難しいです。自分に不利益な事態にならないと動いてくれません。そういう点では、新庄中学校は全国の中学校のエキスパートになっていますから、見本にしているといけないといけないですね。僕も女川町の災害地区へ視察にいきましたが、語り部の方が一番最初にお話してくれたのが枕元に履物を置いている人が何人いるか。飛び散ったガラスで足を怪我しても病院に行けませんよとおっしゃってました。基本がなっていないと、大雑把な事ばかりではいけません。だから、あさちゃんのコーナーもいろんな方面で見てもらえると思うので良いと思います。

安田豊：FM TANABE では 4 時スク！という番組があって、高校生の方々が平日の 4 時から担当してくれています。その中で、時々の防災についての話題も取り上げてくれています。若い方たちの防災意識を日頃から高めていくのはすごく大事なことだと思いますし、そうすると親御さんも影響を受けて親子でディスカッションが出来るかもしれません。4 時スク！も良い方向で活用出来ればと思っております。

3.その他番組への質問・意見

4.今後の放送に対する意見・要望

野村：街中であまり FM TANABE の活動を目にすることが少ないかなと思います。

坂本：今ラジオの価値というのが見直されている時で、情報化社会の中でテレビ・ラジオ・有線・YouTube・Twitter・Facebook いろんなものがあります。コロナ禍ということもありますしテレビ業界が衰退してきていることもあり、基本情報を取得する媒体が沢山ある中でラジオの価値が上がってきるのはなぜかという記事を見ました。身近な声が聴ける。ニュースはニュースで取得できるじゃないですか。今の若い人たちってゲームとかニュースを見ながら、イヤフォンでラジオを聴いているんですよ。複数の媒体を同時に使うような世の中になっているので、先ほどの能楽師さんとかあさちやんのようなラジオだからこそ聴ける身近な声とか、声優さんのテレビでは言えないことをラジオとか Twitter では言えるというのが売れている理由だそうです。今後は差別化をして FM TANABE でしか出来ないこと、防災・減災、身近な地域との繋がりを持たれたら人気が出るのではないかかなと思っています。

橘：弁慶記のポスターを街中でよくみかけるのですが、ラジオからあまり宣伝されていないような印象です。

5.審議機関の答申または改善意見に対して採った措置及びその年月

日

特になし

6.審議機関の答申または意見の概要の公表方法

内容：審議内容について公表

方法：ホームページ掲載 (<http://www.fm885.jp/>)

7.その他参考事項

特になし